

## 情報システム・バックアップオフィス研究会 2013年度 第7回 議事録

### 1. 開催概要

- 開催日 : 2013年11月12日(火) 16:30~18:30
- 開催場所 : BCAO 東京オフィス
- 進行役 : 岡(ソフトバンクBB:座長)
- 議事録作成: 関山(大成建設:副座長)
- 出席者数 : 7名

No.	氏名	会社名
1	岡 伸幸	ソフトバンク BB
2	関山 雄介	大成建設
3	山口孝一	インターネットイニシアティブ (Skype 参加)
4	伊藤 高信	FUN Inc.
5	西出 三輝	損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント
6	羽石 将士	日立製作所(日立システムズ)
7	真城 源学	イツ・コミュニケーションズ

- 配布資料 : なし

### 2. 議事内容

#### 1) 事務局からの報告

##### (1) 研究会のメンバー構成: 35名

- ・富士通総研の岩崎さんが入会されました
- ・日本 IBM の山下さんが退会されました

##### (2) 関連イベントについての実施報告と今後の予定について報告された

###### ○BCAO 活動報告

- ①9月25日: 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換
- ①9月26日: 事業継続主任及び准主任管理者試験(岐阜会場)
- ◆10月9日: 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換
- ◆10月15日: 月例会
- ◆10月16日: 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換

②10月23日(水)~24日(木) : BCP 策定支援講座

◆10月29日 : 事業継続主任及び准主任管理者 継続教育/専門家レベルアップ教育

◆10月30日 : 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換

◆11月11日 : 事業継続普及セミナー(東京会場)

◆11月12日 : D-PAC プロジェクト(名古屋会場)  
: 事業継続普及セミナー(名古屋会場)

○活動予定

◆11月13日 : D-PAC プロジェクト(大阪会場)  
: 事業継続普及セミナー(大阪会場)

: 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換

◆11月14日 : D-PAC プロジェクト(浜松会場)

◆11月19日 : 月例会

※「BCP 訓練の取組みについて」というテーマで、ITBO メンバーの川村さんが  
講演されます

◆11月20日 : 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換

◆11月26日 : 事業継続主任及び准主任管理者 継続教育/専門家レベルアップ教育

◆11月27日 : 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換

◆12月1日 : 事業継続初級管理者試験(東京会場)

◆12月3日 : D-PAC プロジェクト(静岡会場)

◆12月7日 : 事業継続初級管理者試験(大阪会場)

※詳細はBCAO ホームページをご確認ください。

(3) 運営会議

①月例会・セミナー参加者からアンケートを収集する件

②アワード募集開始の件

③各研究会活動 中間報告提出の件

### 3. 討議内容（以下の3項目について議論を行った）

#### (1) ITBO用語の追加

以下の3用語について、議論・修正した。なお「BYOD」については、セキュリティと事業継続の2点に対するメリットデメリットを追記することとし、次回の研究会までに参加者全員の宿題とした

##### ①「クラウド」

<b>【用語】</b> クラウド(コンピューティング)	<b>【英名】</b> Cloud (Computing)
<b>【定義】</b> インターネットの向こう側にあるプロバイダが提供するICTリソースを、ネットワーク経由でサービスとして利用する技術の総称。	
<b>【解説】</b> 利用形態に応じて、IaaS(ハードウェアレベルで利用)、PaaS(OSレベル)、SaaS(ソフトウェアレベル)がある。クラウドを使うことで、従来のDRシステム構築より初期/運用費ともに削減できることから注目が高まっている。ただし、「災害時であっても」クラウドまでのネットワークが繋がっていることが前提であること、提供されるクラウドの信頼性、セキュリティなどが自組織でコントロールできない、などのデメリットがある。	
<b>【用法】</b> DRシステムとしてクラウドを利用する。	
<b>【同意語】</b>	<b>【類似語】</b> ASP
<b>【関連用語】</b> IaaS, PaaS, SaaS	
<b>【参考にしたガイドライン等】</b> カンタン解説クラウドとは？【日本ユニシス】、 クラウドコンピューティング BCM Navi 用語集【ニュートンコンサルティング】	

##### ②「バックアップオペレーション」

<b>【用語】</b> バックアップ・オペレーション	<b>【英名】</b> backup operation
<b>【定義】</b> ・事業を継続するための重要な業務を異なる手段や場所で遂行すること。(ITBO研究会の定義)	
<b>【解説】</b> ・コンピュータがシステム・ダウンした場合の対処法。代替機や復旧などの作業やシステムが用意されていること。	
<b>【用法】</b>	
<b>【同意語】</b>	<b>【類似語】</b>
<b>【関連用語】</b> バックアップ・オフィス(backup office)、バックアップ・サイト(backup site)	
<b>【参考にしたガイドライン等】</b> ホテリアガイド(ホテル観光用語辞典) : <a href="http://jhs.ac.jp/guide/glossary/2997.php">http://jhs.ac.jp/guide/glossary/2997.php</a>	

③ 「BYOD」

【用語】 BYOD(ビーワイオーディー)	【英名】 BYOD(Bring Your Own Device)
<p>企業などで従業員が私物の情報端末などを持ち込んで業務で利用すること。私用で普段から使っているスマートフォンなどから企業の情報システムにアクセスし、必要な情報を閲覧したり入力したりすることなどを意味する。(e-Word)</p> <p>BYOD とは、リスクの認識をした上で、個人所有のスマートフォンの業務利用について組織として意思決定を行い、実際に業務を行うこと(JSSEC)</p> <p>日本スマートフォンセキュリティフォーラム(JSSEC)では、BYODも視野に入れて、「スマートフォン&amp;タブレットの業務利用に関するセキュリティガイドライン」を発行している。また、コンピュータ・ソフトウェア協会では、BYODを導入する場合の取扱規程／セキュリティポリシーのサンプルを公開している。</p>	
【用法】	
【同意語】BYOT(Bring your own Technology)	【類似語】BYOA(Bring Your Own Application)
【関連用語】BYOB(Bring your own Beer)	
<p>【参考にしたガイドライン等】</p> <p>IT用語辞典 e-Word、スマートフォン&amp;タブレットの業務利用に関するセキュリティガイドライン、私有スマートデバイス取扱規程サンプル第1版及びスマートデバイス・セキュリティ・ポリシーサンプル第1版解説書</p>	

(2) バックアップオフィスについて

これまでの討議内容について確認した

(3) その他

「国内 IT 業界のサプライチェーン」というタイトルで、エンドユーザである一般企業と、販社・卸・メーカーにおける、①見積・発注時、②保守時における流れと、③被災時の調達事例について座長にプレゼンしていただいた

#### 4. 次回（2013年度 第8回）ITBO研究会の日程

●日時：12月10日（火） 16:30～18:30

●場所：BCAO 東京オフィス

※研究会開催後に「親睦会」を開催します。参加希望を追ってご連絡しますので  
ご予約いただければ幸いです

#### ●2013年度 ITBO 研究会開催スケジュール

	開催日		時間	場所
1	2013年	4月9日(火)	16:00～18:00	富士通エフサス様
2		5月14日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
3		6月11日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
4		7月9日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
		8月6日(火)	開催なし	
5		9月10日(火)	16:30～18:30	IJ 様本社ビル
6		10月8日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
7		11月12日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
8		12月10日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
9	2014年	1月15日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
10		2月13日(水)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
11		3月11日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス

以上